

新庄市立萩野学園
令和3年度 学校経営方針

1. 学校教育目標

「9年間の関わりの中で、望を持ち、自らを高め、真摯に、
たくましく生きぬく萩野の子どもを育てる」

2. 目指す子ども像

- 〈望みをもとう〉 仲間とともに主体的に学び続けようとする子ども
- 〈友をつくろう〉 豊かな心を持ち、意欲的に自分らしい未来を築こうとする子ども
- 〈汗をながそう〉 忍耐強く、健康でたくましく生きようとする子ども
- 〈ふるさと〉 ふるさとを愛し、進んで関わろうとする子ども

3. 本校の使命 (mission)

義務教育学校としての特色を最大限に発揮し、自ら学び、自ら鍛え、豊かな心をもった知・徳・体の調和のとれた子どもを育成するとともに、地域をよく知り、地域を愛し、将来にわたって地域づくりに貢献しようとする人材を育てることをもって地域の期待に応える。

4. 教職員の中心価値 (Core Value)

学校教育目標の実現に向けて、教育公務員としての自覚をもって真摯に教育活動に取り組む。

- 求められる資質・能力の育成のため、校内研究主題のもと、授業力の向上に進んで取り組む
- 子どもたちの個性をしっかりと理解し、夢と希望を持たせる指導に積極的に取り組む
- 職員間の連携を密にし、自らの校務分掌を遂行しながら学校経営に主体的に参画する

5. 学校経営の重点

- (1) 校内研究主題のもと、主体的な学びと家庭学習の充実を通して、学力の向上を図る。〈望〉
- (2) 学校生活全体を通して子どもの道徳性を高め、いじめの未然防止に全力を挙げる。〈友〉
- (3) いのちと健康に関する指導を充実して、総合的な体力の向上を図る。〈汗〉
- (4) 子ども個々のニーズに対応した特別支援教育の充実と児童生徒の心の安定を図る。
- (5) 校務を精選し、教職員が子どもと向き合う活動の充実を図る。

6. 学校経営の重点を具現化するための手立て

(1) 学力の向上

- ① 校内研究主題「主体的にかかわり合い、高まり合う子どもの育成」をめざし、子ども同士のかかわりや学び合いを大切に、子どもが主体的に学ぶ授業を実践する。
- ② 新学習指導要領に示された求められる資質・能力の育成を意識した教科・領域の指導計画を整備・実践する。
- ③ 総合的な学習の時間におけるふるさと学習「はぎの探究タイム」をカリキュラム・マネジメントの要として位置づけ、将来にわたって求められる資質・能力を育成する。
- ④ 進路意識の高まりを図るため、義務教育学校の利点を生かして、進路学習内容を早めに実践するよう指導計画を整備する。
- ⑤ 個の特性を理解し、それぞれの能力に合わせた「授業づくり」「家庭学習課題の設定」「自主学習指導」を行い、個の学力の伸長を図り、全体の学力の向上につなげる。

- ⑥ ICTの活用プロジェクトチームが運用方針を定め、多くの場面でのICT機器の活用を図り、教育効果を高める。

(2) 道徳性の涵養

- ① 萩野学園いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止に積極的に取り組むとともに、毎月実施するアンケートを活用していじめの早期発見・早期対応に全力を挙げることで、事態の重大化・深刻化を防止する。
- ② 「考え、議論する道徳」の授業実践を推進するとともに、特別活動との関連を図りながら、学校生活全体を通して道徳性と実践力を育成する。
- ③ 道徳の適切な指導及び評価に関わる研修会を設けることで、教員の指導力向上を図る。

(3) 健康・体力の向上

- ① 体力・運動能力の向上のため、十分な運動量を保障する教科体育の授業を実践する。
- ② 教科体育の学習内容と体育的行事との関連を密接に図る。
- ③ 生涯を通じて健康に生活する基礎を培うため、体育・健康に関する指導を充実させる。
- ④ 健康的な生活習慣に関わる実践力を育てるため、保健指導の充実を図る。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を十分に行い、まずは命を守ることを最優先にしながら、教育課程等の変更には柔軟に対応し、学校経営にあたる。

(4) 特別支援教育の充実

- ① 市の特別支援教育巡回相談との連携を図り、子どもの実態を正確に把握し、適切な支援計画の整備と個に適した指導・支援を迅速に実践する。
- ② 教員の特別支援教育に関する研修を推進するとともに、学習指導員を有効活用して子ども個々のニーズに応じた指導を日常的に実践し、児童生徒の心の安定を図る。
- ③ 校内特別支援委員会を有効に機能させ、保護者との連携を強化し、適切な進路指導を行う。

(5) 子どもと向き合う時間の確保

- ① 校内検討委員会を設置し、校務精選の具体的な方法を検討し、実践する。
- ② ワーク・ライフ・バランスの観点から、教職員各自が勤務時間削減目標を設定し、実現に向けて実践する。
- ③ 本校部活動運営方針を遵守し、生徒の健全育成と勤務時間の適正化を図る。

7. 保護者・地域との密接な連携

- (1) 学校の経営方針及び成果と課題等を積極的に発信し、学校の現状を共通に理解していただく。そのために、全校保護者会を定期的で開催して説明する機会とする。
また、喫緊の教育課題に関して保護者への啓発を図るため、講師を招いての研修会も積極的に企画する。同時に学年保護者会・学級保護者会を開催し、保護者間の意見や情報交換を行うことで保護者間の関係を密接なものにしていく。
- (2) 保護者以外の家族と同居している世帯の割合が多い地区であることを踏まえ、祖父母を対象とした授業参観や学校説明会を開催して学校への理解を促進する。
- (3) 新庄市防災訓練に積極的に参加し、児童生徒の防災意識を高めるとともに、地域の一員として行動しようとする意欲を育む。